

北糖のお仕事ご紹介! ～第2回～ 本別製糖所原料受入施設編

北糖のお仕事ご紹介! 第2弾は本別製糖所の原料受入施設をご紹介します!

①原料の卸場



荷卸された原料はコンベアで運ばれてローラー状の除土機にかかります。

ダンプへの荷卸し指示や原料がすべて荷卸されたか確認しています。



②サンプル採取



除土機の上を流れている原料から糖分サンプルを採取します。



除土機を通ったてん菜は長いコンベアでビートビンに運ばれます。

操作室

荷卸しの順番や原料を除土機に流す間隔などのコントロールを行っています。目視とモニターで確認を行いながら、安全第一で作業に当たっています。



③ビートビンへの積み上げ



効率よく、原料の破損が少ないように気を付けて積み上げています。



お手伝い頂いている皆さん

原料の受入のお仕事は他にもトラックスケールや原料の貯蔵のお仕事もあります。工場関係のお仕事に興味のある方は、是非お近くの製糖所までご連絡下さい。お待ちしております!

シュガービート Sugar Beet

2020 No.107

北海道糖業株式会社
札幌支社



今号の特集

1. 原料部門より新年のご挨拶 P2～3
2. 令和元年は高収量の年となりました! ～令和元年の生産実績について～ P4～5
3. しっかり準備し、がっちり出来秋を! P6～7
4. 増収への第一歩! ～早めの準備&スタートが肝心です!～ P8～9
5. 「新お砂糖を考える」第2回「国産糖と輸入糖あれこれ」 P10～11
6. 北糖のお仕事ご紹介!～第2回～本別製糖所 原料受入施設編 P12

Sugar Beet 2020 No.107

北海道糖業株式会社
札幌支社

〒060-0001 札幌市中央区北1条西5丁目2番地
札幌興銀ビル8F
TEL (011) 221-1886 FAX (011) 221-5786
編集発行人: 岩崎 豪司
令和2年1月31日
●北糖ホームページ: <https://www.hokutou.co.jp>
●農機具販売ホームページ: <https://www.hokutou.co.jp/nouki/>

新年明けましておめでとうございます!



取締役専務執行役員
札幌支社長：工藤 雄

～ご挨拶～

新年明けましておめでとうございます。日頃よりてん菜の生産振興ならびに作付面積維持・拡大に対し深いご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。令和元年産のてん菜は春先の風害等を乗り越え全道的に豊作となりました。耕作者の皆さま方をはじめ関係者の並々ならぬご努力に対し、改めてお礼を申し上げます。

さて当社本別製糖所におきまして、昨年9月下旬に重油漏れの重大事故を発生させてしまいました。住民の皆さま方をはじめ関係する全ての方々に多大なるご不安とご迷惑をお掛けした事に対し、深くお詫び申し上げます。製糖工場としての地域貢献のあり方やその責任について全従業員が改めて自覚し直すとともに、全社を挙げて再発防止に向け取り組んでいく所存です。

まだまだ厳しい寒さは続きますが、令和2年産の作付に向けそろそろ本格的な準備を行う時期となりました。当社担当者が作付推進のお願いに伺うことと思いますが、適正な輪作体系を前提とし、てん菜を最大限作付して頂くようご検討ください。

本年につきましても、良質なお砂糖を消費者の皆さま方へお届けできるよう、気を引き締めて取り組んで参りたいと思います。本年も変わらぬご支援・ご指導を頂けますようどうぞ宜しくお願い致します。

道南製糖所原料課&㈱ほくとう興農



道南製糖所
船久保裕輔・大西悠己・星野達也・下田崇正
藤井寛・西野雅宏・原田大二郎・石澤光・工藤裕子
佐長真・坂本裕樹(課長補佐)・鶴見卓也(課長)・末永尚士・稲葉幸子

北見製糖所原料課&㈱オホーツクアグリサポート&㈱糖栄



北見製糖所
岩本渚・藤本優雪・西田大拳・戸田大貴・神田大靖・木平邦洋(右上)
滝口由博・國見直弘・木下雅貴・森本隆生・伊東証喜
宮脇正幸・相馬健二(課長補佐)・鳴神英喜(課長)・久保田忍・佐藤基

本別製糖所原料課&㈱南十勝興農&㈱下浦農場



本別製糖所
岡田悠暉・北沢英之・荒康平・竹内尚也・新川皓太・関政広・沼田早智子・久保志織・桑畑由衣
大葛政史・石井岳浩・田中克(課長補佐)・井内大輔(課長)・堀越勇作・岡戸亮司

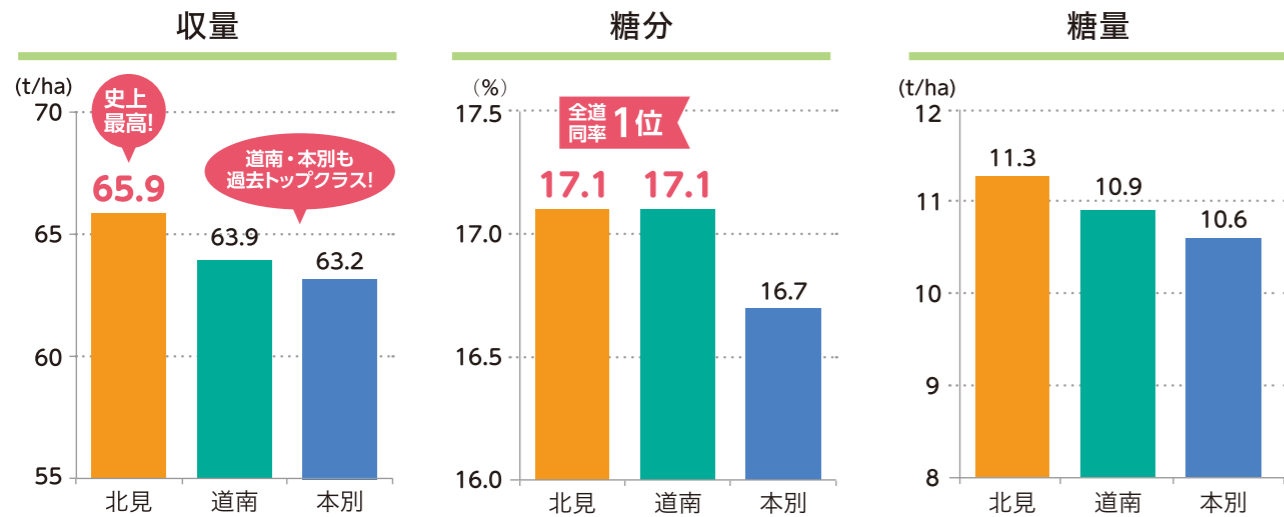
令和元年は高収量の年となりました!~令和元年の生産実績について~



解説:本別製糖所原料課
新川 皓太
(担当地区:本別町)

令和元年のてん菜につきましては、春作業が順調に進んだことや防除が徹底され病害虫が少なかったこと等、耕作者皆様方のご努力により、収量が大幅に平年を上回る実績となりました。一方、夏号で本年は”エルニーニョ現象”により高糖分の年になるのでは?との記事を書いたのですが、糖分は概ね平年並みとなりました。そんな令和元年の生産実績についてご説明したいと思います。

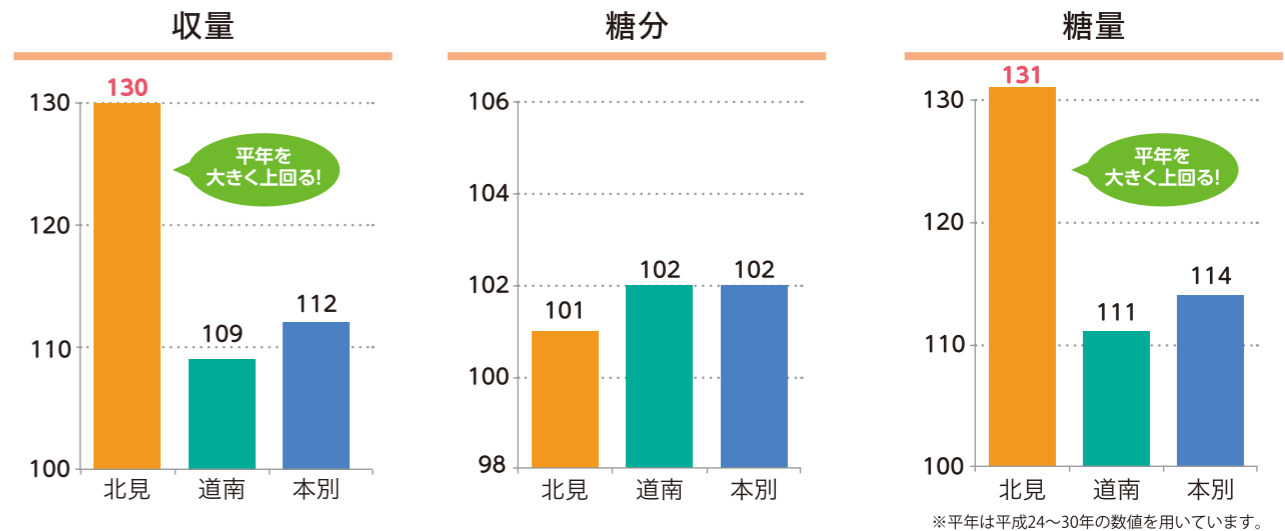
令和元年産てん菜の各実績



各製糖所の生産実績について

- 収量は大幅に平年を上回りました! 特に北見管内は平年比130%の収量です! これは糖分取引開始以降最高の収量です。また、道南・本別も過去5本の指に入る収量です!
- 糖分は平年並みです。収量が上がると糖分は下がる傾向にありますが、平年を上回る収量にもかかわらず、糖分も平年並み(やや上回る)を確保しました!
- 糖量も平年を大幅に上回りました。平年を上回る収量により、糖量も多くなりました。ちなみに北見管内は糖量も平年比131%です!

各実績の7カ年平年比



令和元年生産実績トピックス

1. エルニーニョが収束してしまい、夏季はエルニーニョ現象が発生しなかった(°Д°);

夏号執筆中の6月には気象庁から「今後夏はエルニーニョ現象が続く可能性が高い」との情報が発表されていたため、過去の実績からエルニーニョの年は冷夏になる傾向があり、その結果高糖分が期待されるとの記事を書きました。しかし、夏号発行直後の7月にあっさりエルニーニョが収束したとの発表がされ、その結果、冷夏にはなりません。

それでも、病害虫が少なくビートは健全に育ちましたね。



2. 夏以降一気に根重が増加しました!

本年は降水量が少なく全体的に干ばつ気味で経過しておりましたが、8月のまとまった降雨により根重増加のスイッチが入り、肥大が加速しました。

3. 登熟期の天候が良好でした!

また、7月下旬~8月上旬を除くと概ね平年より気温が低めで、圃場が長期間過湿になるような極端な雨も少なかったことから、病害虫も少なく、また、9月~10月は日照時間も多く寒暖差もあり、てん菜にとっては良好な登熟条件になりました。

大きな器(ビート)に平年並みの糖分を確保できたのはすごい! 大豊作年となりました。



低コスト農業の強い味方。

てんさいの褐斑病防除には!

グリーンペンコゼブ®水和剤

●「てんさい」の適用病害と使用方法 2019年12月現在

適用病害名	褐斑病	
希釈倍数	400~600倍	125倍
使用液量	100~300L/10a	25L/10a
使用時期	収穫21日前まで	
本剤の使用回数	5回以内	
使用方法	散布	
マンゼブを含む農薬の総使用回数	5回以内	

有効成分:マンゼブ 80%
人畜毒性:普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)

—ペンコゼブ普及会—

クミアイ化学工業株式会社
ホクサン株式会社

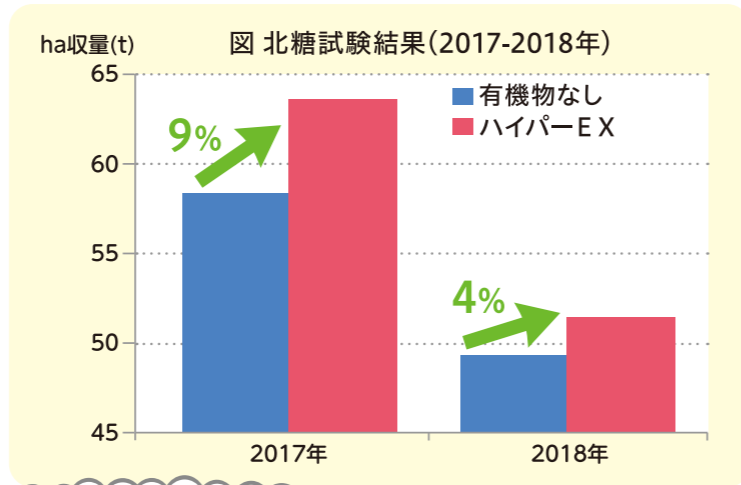
しっかり準備し、がっちり出来秋を!



解説：農業機材課 鈴木 隆史

有機物を投入し、気象変動に負けない土づくりを!

最近、農業機械の大型化がすすみ、畑が固くなっていますよね。有機物を投入し、畑をやわらかくし、排水性を向上させましょう! また、地力アップ、病害を減らす効果も期待できます。



来春、もうひと工夫して、まわりと差をつけれる方法ないかな? 扱いやすい有機資材はないだろうか...



風害はビートの天敵! 畑作構造転換事業の対象となる予定(一部取組)

昨年、春先に風害が発生しました。今年3つのポイントを軸に準備万端、被害を食い止め、安定生産を!

2009年本別町

ポイント①

麦類の整地前散播

麦類で被覆し、風から守る。



ポイント②

狭幅鎮圧輪

畦に凹みをつくり、風から守る。

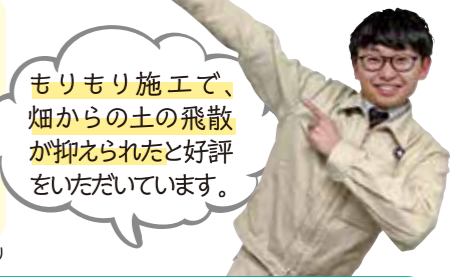
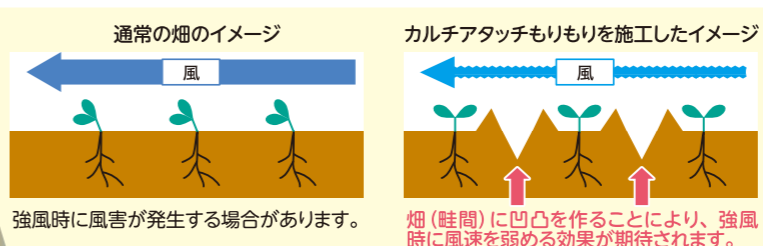


ポイント③

ご好評につき、販売数量に限りがあります。

カルチアタッチもりもり

畦間に凸凹をつくり、風から守る。畦に土塊が寄らないよう速度と深さを調整しましょう。



もりもり施工で、畑からの土の飛散が抑えられたと好評をいただいています。

※日本農業気象学会 北海道支部2017年大会 講演要旨集より

みなさんのビートづくりをサポートします。各技術や資材・機械については、北糖地区担当者にお声かけください。

西部萎黄病を媒介するモモアカアブラムシ対策に

アクタラ®
顆粒水溶剤

てんさいアブラムシ類
希釈倍数:3000倍

使用方法:
散布

定植前の苗床灌注に加え
本田の莖葉散布が可能に!

イネ科、カヤツリグサ科、ツクサに40日以上の長い抑草効果

デュアルゴールド®

100ml/10aの効果
無散布

てんさいの直播栽培の使用時期が播種後出芽揃期に加え、中耕後も使用できるようになりました!

©はシンジェンタ社の登録商標
農業をご使用の際は、ご購入先、または当社ホームページなどで最新の登録内容をご確認ください。【ホームページ】<https://www.syngenta.co.jp> シンジェンタ ジャパン株式会社

ビートの除草にはこの2剤!

大きなイネ科雑草もバツサリ枯らす

イネ科雑草対象茎葉処理除草剤

ポルト® フロアブル

ノビエ、ツクサなどをしっかり抑える

1年生雑草用土壌処理除草剤

ラッソー® 乳剤

日産化学株式会社 〒060-0002 札幌市中央区北二条西1-1
TEL:011-251-0264 <http://www.nissan-agro.net/> ©は日産化学(株)の登録商標

増収への第一歩! ~早めの準備(土壌 pH管理)&スタート(早期播種・定植)が肝心です!~



解説:北見製糖所原料課
西田 大拳
(担当地区:訓子府)

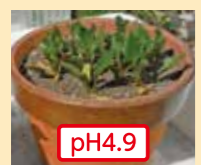
土壌pH管理

~てん菜は低pHに弱い作物~
pHが低いと、初期生育が遅れ、減収が大きくなってしまいます。特に直播では、低pHの影響を大きく受けます。適切なpH矯正を必ず実施してください。

播種後1か月



pH6.1



pH4.9

播種後2か月



(2019年試験 北糖)



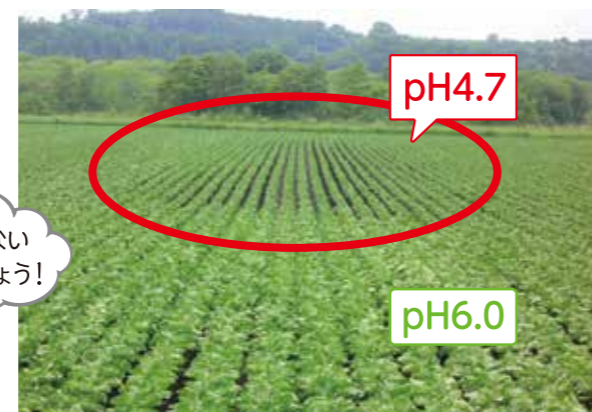
pH4.4

(2018年8月8日撮影)

低pHのポットは初期生育が遅れ、2か月後も葉と根は細いまです。

特に、低pHの直播の畑では、生育がかなり遅れてしまいます。

てん菜の安定した生育・高収量確保のためにも、まずは自分の畑のpHを把握することが大切です。同じ畑でも、場所によってpHが異なる場合があります。特に、以前作物の生育が不均一であった部分があれば、健全な部分と別々にpH診断しましょう。



pH4.7

pH6.0

(2014年撮影)

pHが低い場合は、pH5.8以上を目標に石灰資材を投入しましょうね!

pHのムラがないようにしましょう!

北見製糖所原料課
木下 雅貴(担当地区:端野)



早期播種・定植

移植も直播も、早期播種・定植で生育を促進させることができます。



5月9日定植

5月6日定植
(5月7日降雨あり)

(2019年6月20日撮影)



4月20日播種(直播)

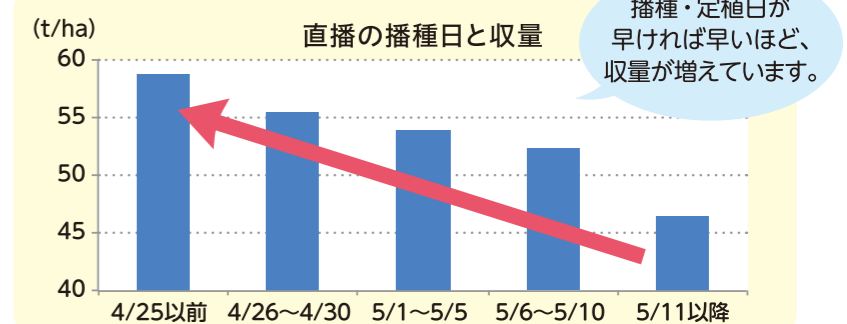
(2019年6月20日撮影)

十勝管内の移植の畑です。すでに6月20日には、早期定植圃場の方が良好な生育になっていました。

十勝管内の直播の畑です。早期播種の結果、6月20日には、畦がふさがるまで生育しています。



早期播種・定植は、お金をかけずに高い効果が期待できる増収方法です。ぜひ取り組みましょう!



(2014年および2017年、北見、道南、本別製糖所467戸、当社調べ)



融雪剤散布・健苗育成・排水対策など、早期播種・定植のための準備が大切です!早めの準備をよろしくお願いいたします!



使い易さ抜群!

苗床から本圃まで
てん菜の根腐病、葉腐病にはこれ1本!

リンバー® 顆粒水和剤



苗床灌注処理も使用可能に!

アブラムシ等の防除に!
本圃でも使用できます!

ダントツ® 水溶剤

住友化学株式会社

お客様相談室 0570-058-669

てんさいの褐斑病防除に! グリーンダイセン™M 水和剤

畑作用殺菌剤

「希釈倍数400倍~」に適用拡大いたしました!



CORTEVA agriscience

ダウ・アグロサイエンス日本株式会社 〒100-6110 東京都千代田区永田町2丁目11番1号 山王パークタワー

®、TMが付記された表示は、デュポン、ダウ・アグロサイエンスもしくはバイオネアならびにこれらの関連会社または各所有者の商標です。

新 お砂糖を考える

第2回「国産糖と輸入糖あれこれ」

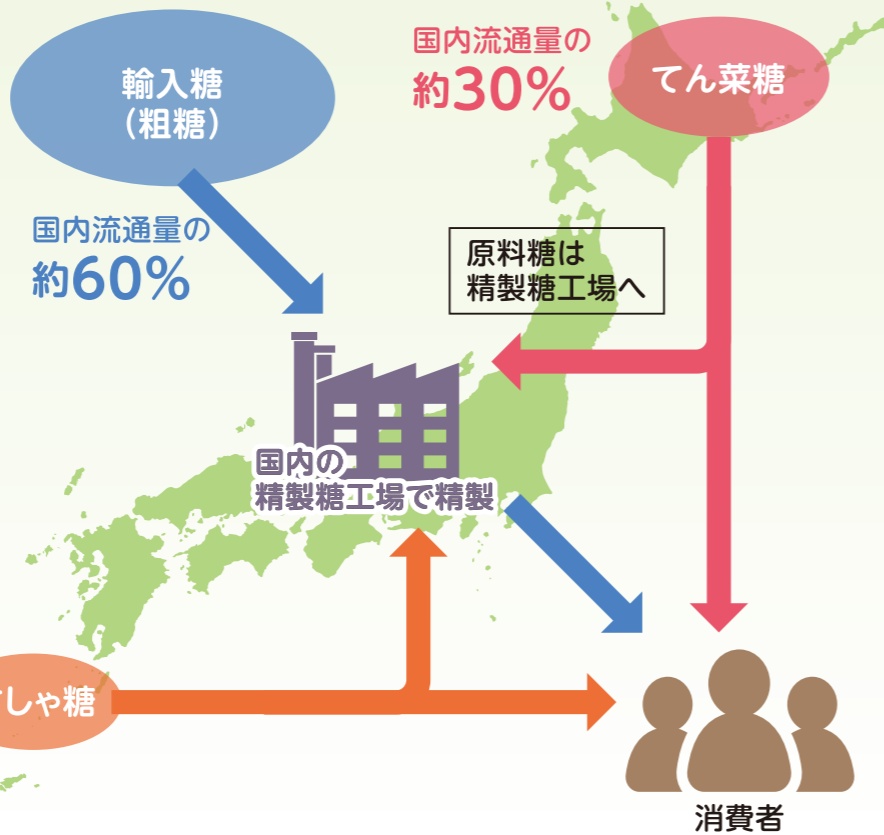
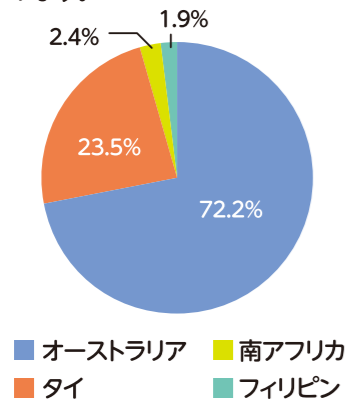


解説：北見製糖所原料課
藤本優雪
(担当地区：相内)

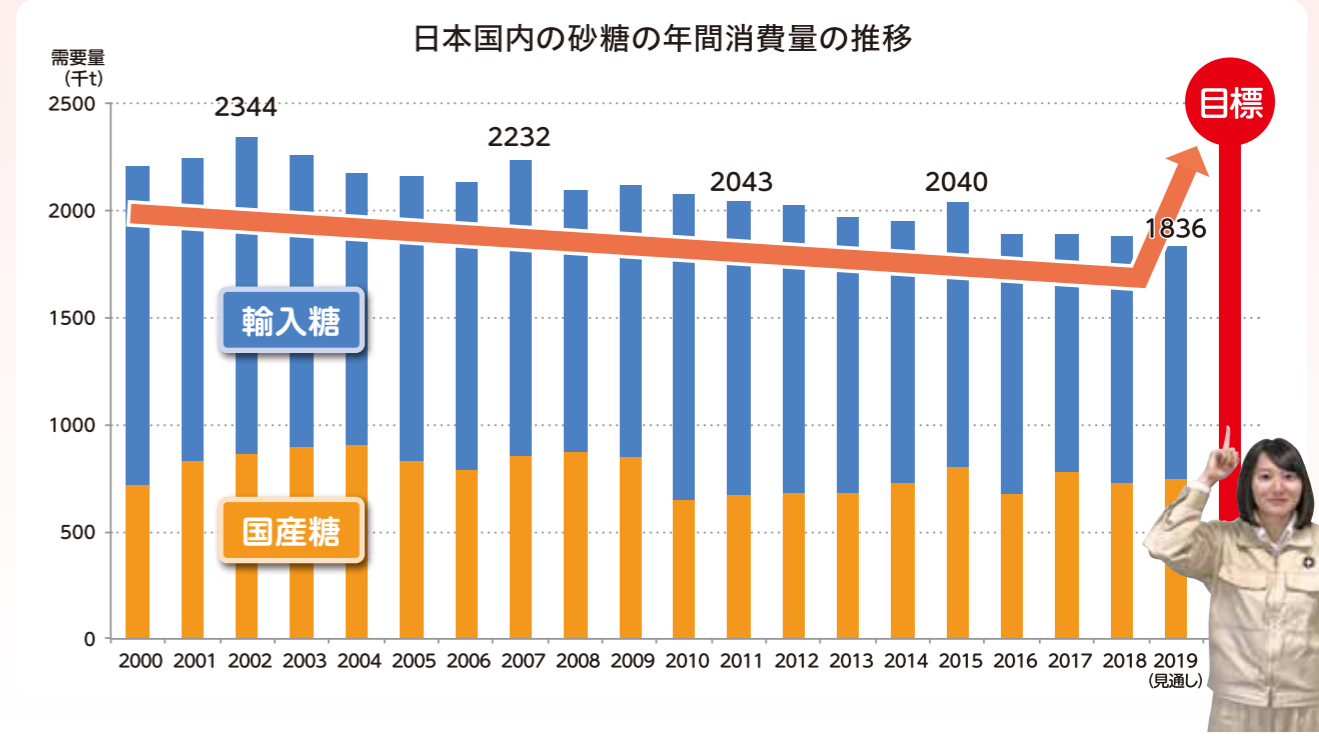
日本で流通するお砂糖には、国産糖と輸入糖があります。国産糖には、北海道で作られる「てん菜糖」と沖縄県や鹿児島県でサトウキビから作られる「甘しや糖」があります。「輸入糖」は、粗糖と呼ばれる不純物を含んだ状態で輸入され、日本国内の精製糖工場では精製され白いお砂糖として消費者の元へ届きます。

輸入国の割合 (2017年)

日本の砂糖の輸入先は、オーストラリアとタイで9割以上を占めています。



日本国内の砂糖の年間消費量は、近年減少を続けており、色々な問題が起きています。これら問題については、今後のシュガービートで取り上げていく予定ですが、解決には**消費拡大が必要不可欠**です。現在の年間消費量は約190万tですが、少しずつでも拡大できるよう皆様方のご理解・ご協力のほど宜しくお願いします。



北糖の事情通Xと藤本社員による対談

事情通X：いやー寒い寒い。熱々のコーヒー飲もう、砂糖も入れよう。藤本さんも飲む？

藤本社員：はい！頂きます！（グビグビ）それにしても日本で流通しているお砂糖は、国産糖より輸入糖の方が多いなって意外でした。

事情通X：いきなりですが質問タイム。輸入糖の消費も国産糖を守るために必要、○か×か、どっち？

藤本社員：うーん、じゃ…◎！



北糖の事情通X

事情通X：正解！国産糖を作るうえで、輸入糖の存在も必要不可欠なんだ。輸入時に調整金が徴収され、それを生産者と国内産糖業に交付して成り立ってるんだYO。

藤本社員：知ってましたYO。だから私、てん菜糖はもちろんお砂糖って書いてある飲み物、積極的に買って飲んでますもん。

事情通X：お砂糖は日本の食料自給率に大きく寄与しているし、地域経済にとってもなくてはならないものなんだ。

藤本社員：了解です、先輩！ どんどんお砂糖を消費しちゃいます！（グビグビ）